

裁判員裁判体験ツアー ～もしもあなたが裁判員候補者になったなら～



大阪地方裁判所では、2月9日（金）、裁判員経験者・補充裁判員経験者を「サポーター」としてお迎えし、「サポーター」の生の声を交えながら、実際に裁判員候補者になった場合の、その後の裁判員等選任手続・法廷での審理・評議について説明し、体験できるツアーを開催しました。

ここでは、体験ツアー当日の様子や参加者の皆様の感想をご紹介します。

裁判員等選任手続

まずは、裁判員候補者名簿記載通知を受け取り、実際に裁判員に選ばれるまでの流れを説明し、選任手続を体験していただきました。



裁判員裁判の流れや実情、具体的なスケジュール感が分かった。経験者の話も聞けて大変参考になった。

法廷での模擬裁判

刑事裁判の流れを説明するとともに、架空の強盗致傷事件を題材に模擬裁判を実施しました。

皆様、緊張されながらも、裁判官、裁判員、検察官、弁護人、証人の役になりきって、見事に演じていただきました。



思っていたよりも模擬裁判等が本格的で驚いた。模擬裁判を体験し、いろいろな話を聞くうちに自分にも出来ることではと思った。



普段見ることのできない部分を見ることができ、大変貴重な機会だった。

評議の説明

ラウンドテーブル法廷に移動して、クイズなどを交えながら、評議で行うことやその様子、守秘義務などについて説明しました。



裁判官＞裁判員のイメージが知識や経験の差でどうしてもぬぐえずにいたが、対等にするために説明等工夫が尽くされていることを知り、印象が変わった。

参加者の声

裁判員裁判や裁判員制度に対するイメージが変化したかをお聞きしました。不安感をお持ちだった方も前向きな気持ちになられた方が多かったです。



裁判員裁判の流れがよくわかった。どうしても法律の知識が必要だと思っていたが、そうではないと知り、安心した。

法律を何も知らない状態で人の人生を左右する判決を決めるのはとても難しいのではないかと考えていたが、今度は実際に裁判員として裁判に携わってみたい。



裁判員裁判の仕組みがよく理解できた。裁判員制度が公平な裁判にとって必要なものであるとわかった。



サポーターや裁判官の話が直接聞くことができ、裁判員裁判に対する固いイメージが変化し、身近なものであると感じることができた。

裁判員制度は、令和6年5月21日で制度施行15周年を迎えます。参加者の皆様には、今回の体験ツアーに参加されたことで、裁判員制度に対する抵抗感や不安感が解消され、裁判員裁判への関心や参加意欲を高めていただけたようです。今後も、裁判員制度について多くの方に関心を持っていただき、裁判員裁判に参加したいと思っていただけるよう、様々な広報行事を実施していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

